ける点はメリットだと思います。主な学習方法は、練習課題を作図し、解答例と照らし合わせ、書き切れていない部分を確認することを繰り返していました。始めは慣れていないため、時間がかかり、書き漏れも多いですが、徐々にポイントを理解して描けるようになりました。試験日まで可能な限り多くの練習をして、作図の早さと解答の精度を上げることを意識しました。

また、製図は製図板などの道具が必要となり、練習できる場所が限られるため、さらにスキマ時間を活かすことはできないか考えました。出題の中には、作図のほか、設計において工夫した点を解答する問題があるのですが、Ａ３用紙１枚分もあるため、毎回一から考えて解答すると、かなり時間を要します。そこで、可能な限り出題されそうな内容をパターン化し、頭の中に抽斗を作っておいて、何を聞かれても反射的に解答できるような対策をしました。文言を覚えて復唱することは、スキマ時間でも可能です。私は作図前の検討（エスキス）に時間をかけてしまいがちでしたが、この対策により、苦手な部分に時間を割くことができました。

最後の最後まで

以上のように、自分の身の丈を考えながら対策を考えて、試験に臨みました。合格する方々は、それぞれ対策方法も異なりますので、自分にどのような方法が合っているか、まずは情報収集することが大切だと思います。

一方で、どれだけ対策しても予想外の事態が生じることがあります。私の場合、製図試験の終盤、最後に断面図を仕上げようと思った矢先、残り50分と思っていた試験時間が勘違いで残り20分しかないことに気がつきました。練習では20分以内に断面図を仕上げられたことがなかったため、顔面蒼白でした。１つでも図面が不足していると、その時点で不合格となるため、とにかく描くしかないと覚悟を決め、そこからは夢中で手を動かして作図しました。試験終了の号令がかかる直前までペンを動かし続けていましたが、何とか最低限の図面を描き上げることができました。

試験時間を勘違いしたことは大いに反省していますが、これまで１枚１枚作図練習した積み重ねが生きた瞬間とも思っております。これから受験される方も、どのような場面でも必ず最後まで諦めずに頑張ってください。どのような学習方法でも、ご自身が納得できるだけの努力をすれば、必ず実を結ぶものと信じております。

【著者紹介】　吉村　務（よしむら　つとむ）
平成26年度国土交通省入省。近畿地方整備局営繕部、本省大臣官房技術調査課、本省大臣官房官庁営繕部計画課を経て、現職。営繕工事の計画、予算等の職務に従事。

Dr.クマの“健康のヒント”

標準治療のすすめ

友人からがんが発見されたとの連絡があった。自宅からアクセスの良い総合病院で検査を進め、標準治療を行う予定とのことだ。賢い選択である。がんの３大療法は、手術、放射線、化学療法である。この３者を選択、あるいは組み合わせて、保険診療内で最善と思われる治療をすすめていくのが標準治療と呼ばれる。標準という言葉に反応して、もっと良い治療があるならばそちらにしたいと言われる方もあるが、標準治療より良い治療は「ない」のである。具体的に列記するのははばかられるが、標準治療を越えた夢のように効く治療法、代替治療とも呼ばれる方法がネットや書籍で宣伝されているのをみかける。これらのほとんどはインチキである。人間は望むことを信じたい動物で「がんが消える」という言葉を信じたくなる。しかし、標準治療は松竹梅の竹ではなく、最善の治療法であり、これを越えると証明された代替治療はない。クリニックなどで行われる代替療法でも、免疫力アップ、体に優しい、自然治癒力、がんが消える、などの言葉で飾られたものは、ほとんどが高額な自費診療であり、一度疑ってみる必要がある。標準治療を行いながらであれば、たとえばサプリをとることを目くじら立てて止めるつもりはないが、代替治療だけに頼ることは危険である。

北里大学医学部 教授　熊谷 雄治